2011年
6月14日
火曜日
日刊工業新聞

●購読のお申し込みは
フリーダイヤル
（東　京）0120:412346
（大　阪）0120:597117
（名古屋）0120:462346
（福　岡）0120:817120

義援金を募集します

「東日本大震災」の被災者支援として、日刊工業新聞社は義援金を募ります。日本赤十字社、国、地方公共団体本通じて、復興のために全額寄付されます。

●受付口座
振込先金融機関
営業窓口　普通
口座名義＝株式
社　義援金口
問い合わせ＝日

パリ・エアショー2011

中小参加

上昇気流に乗れ！

パリ・エアショーは09年に開催100周年を迎えた世界最大規模の航空宇宙に関する国際見本市で、今年は20日から26日まで開催される。国内からは手メーカーの中小、中部経済産業局が他の経産局、自治体と連携し、中堅・中小による航空宇宙分野の海外販路開拓の一環として出展を支援。今回は09年「パリ・エアショー」、10年「ファンボロー・エアショー」に続き3回目の取り組みで、海外の機体メーカーだけでなくエンジンや部品メーカーとの商談機会創出など受注獲得を目指す。

航空機の設計を手がけるベスト・テック（名古屋市中区、鬼頭誠社長、052・321・8755）は、国内の航空機メーカーからの受注が主。パリ・エアショーの出展は2回目で、海外企業からの受注増に弾みをつけたい」（秋山誠設計室部長）と意気込む。

同社の強みは民間や防衛省向け飛行機の設計に長年たずさわった技術力だ。エアショーでは自社の紹介のほか、設計担当者が海外メーカーのブースを訪れて自社の技術を紹介する。

エアショーでは通訳を介するが、今後は語学に堪能な人材確保を検討する考えだ。

TEKNIA（名古屋市中川区、高橋弘茂社長、052・303・3347）は、航空機部品向け切削加工技術を提案する。鉄に加え、難削材のチタン加工にも対応できる技術力と短納期をアピールする。一小規模企業が機体メーカーと直接取引するのは難しい」（河内秀文営業課長）と示する。小型・軽量タイプと、小型ながら高精度と高出力のタイプで、いずれも炭素繊維強化プラスチック（CFRP）など難加工材の仕上ががよい、4000気圧の高圧水で切断するウオータージェットマシンで加工したCFRPやチタンなどのサンプルも展示。欧米での知名度向上を目指す。

パリ・エアショーは、関西の中小メーカーと共同製作した小型航空機に使われるタイヤの衝撃吸収部品を中部経産局のブースに展示する。ジャストイン・タイム方式による高品質・短納期生産と、部品を機成するパーツを一括で納める「キット化納品」を打ち出し、海外勢との差別化を図る。

キット化納品をわかりやすく説明するため、アクリルケースにパーツと発泡材を詰めたサンプルを作成。チームには同社はオオナガ（兵庫県稲美町）など切削加工精密工業や近畿経済産業局が参加する。

アドバイザーとして住友商事が参加する。

「初めての出展だ。しかし、初めての出展を未知とは考えておらず、堅実に技術力をアピールする。エアバスなどのトップ企業は目はずす。2次下請けの企業を狙っている。当社のような中小企業の技術を提案する。

09年のパリ・エアショー（プルームパーグ）

ジェットエンジンつくれます

新潟市、単独展示

小型ジェットエンジンのタービン

新潟市は市内への航空機関連企業誘致と地域企業の航空機機産業進出を後押しするため、09年のパリ、10年のファンボロー、そして今回と3年連続で海外の大規模航空ショーに出展する。今は中部経産局のブースでの展示に加え、単独で約22平方メートルのスペースを確保。市内企業5社（YSEC、JEE精密、小林製作所、コマザワ精機、NECソフト）や市外企業3社（米谷製作所、シェイシーエム、JASPA）、県内2機関（上記）に出展する。意気込みは相当なものだ。

単独出展のブースの目玉は、市が以前から開発を支援している小林工業による無人航空機用小型ジェットエンジンの展示。製作途中だがタービンブレードなどの部品はほぼできあがっており、組み立て前の形で展示する。地域企業の技術でジェットエンジンを作ることが示できることをアピールし、受注につなげたい考えだ。

これまでの出展経験から「技術に関心を持ってもらえるが、その後の受注につながりにくい面があった。もう一歩踏み込んだ展示内容が必要と感じていた」（市の担当者）という。ジェットエンジン開発の参加メンバーであり同初出展する小林製作所の小林直樹社長は「ジェットエンジンの展示の反応が知りたい。また、当社が得意とする溶接技術も見てもらいたい。航空機分野だけに限らず新たな仕事につながれば」と期待を寄せている。（新潟・阿部正章）

海外企業のブースを訪問して商談するなど積極的に営業活動を展開した（09年のパリ・エアショー）

深層断面

聞く

由紀精密、神奈川県茅ケ崎市、大坪由男社長、0467・82・4106）は航空機向けなどの精密切削加工部品を手がけており、2010年に航空宇宙品質規格JISQ9100認証を取得、航空機分野に力を入れている。パリ・エアショーに今回、単独で初出展する。受注獲得などこれまでの経験をどう生かすか、大坪社人常務に聞いた。（横浜・伊勢茂沙子）

―出展の狙いは。

「今回の出展は欧州に進出するための足がかりとする。

よりこ思っている。2月に米国ナパイムで開催された医療機器設計・製造展（MD&M）West）を多く獲得できた経験もあり、今回のエアショーにも期待している」

カアピール

―受注を獲得するための戦略は。

「営業は考えておらず、堅実に技術力をアピールもらう」

―受注を獲得するための戦略は。

「営業は考えておらず、堅実に技術力をアピールする。エアバスなどのトップ企業は目はずす。2次下請けの企業を狙っている。当社のような中小企